



空手道協会の新春初稽古

新年あけまして おめでとうございます 引き続きご愛読お願い申し上げます

内灘町議会議員 堂下 清孝

UCHINADA

町議会Eメールアドレス gikai@town.uchinada.lg.jp
町ホームページ <http://www.town.uchinada.lg.jp>

うちなだ

議会だより

定数の削減決定 2ページ

シルバー人材センター設立 5ページ

視察研修報告 6ページ

いっぱん質問 9人 8ページ

Vol.84

平成18年 [2006]

1月23日発行

〒920-0292

☎076-286-6715 FAX076-286-6711

石川県河北郡内灘町大学1丁目2-1

発行：内灘町議会

責任者：議長 堂下 清孝

編集：議会広報対策特別委員会

12月

定例議会

7日～15日

議員定数の削減

18→16人となる

定数の削減については、9月に議員提案を受けてから議会運営委員会、全員協議会で議論を重ねてきました。議論を重ねた結果、定数を2名減すること、議会の総意として確認し、12月議会最終日に議員定数条例の改正案が全員賛成で可決されました。

今後は、改革を含めた議会のあり方についても、議論をしていくことにしています。



全員起立

町長提出議案では、17年度各会計補正予算7件、条例の改正8件、規約の変更など6件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

町政一般質問では9人が登壇し、町の考えをただすとともに、請願・陳情については、採択3件、継続審査2件とし、議員提案による意見書2件を原案のとおり可決しました。

また、議会議案として提出された、議員の定数を2名減数する条例の改正案は、全員賛成で可決されました。

提案理由

本案は、条例による議員定数18名から2名を減数し、16名とするものです。

地方分権が進むなかで議会に期待される役割は、従来に増して大きくなっています。私達議会は、住民意志を行政に反映させ、負託に応えた住民福祉の向上を目指し、チェック機関としての役割を果たしながら、政策立案・審議能力の向上を図っているところでもあります。

しかしながら近年、国、地方において、行財政改革が大きな課題となっており、地方議会においても住民ニーズを見据えたより効率的な運営が求められています。

議会自らが真摯な姿勢で率先して議会改革に取り組む一環として、議員定数の削減は避けて通れない問題であり、定数削減と言う大きな改革に取り組むことを決意しました。

能登有料道路の 直線化に2,870万円

一般会計

平成17年度補正予算において、4千936万円を追加し、予算総額を73億6千688万円としました。

(賛成15人)

(反対2人)

主な歳出

総務関係

●男女共同参画行動計画策定の住民意識調査に係る費用、向粟崎地区自主防災組織の防災資機材整備補助金等に69万円を計上。

民生関係

●鶴ヶ丘保育所遊戯室のスペース対策費、子育て支援センターを増設するための調査設計・不動産鑑定委託料に670万円を計上。

衛生関係

●4月から実施予定のプラスチック容器の分別収集を行なうために各地区のステーションに配備する収納袋等の費用180万円を計上。

商工関係

●産業会館の耐震診断、耐震補強計画策定等に90万円を計上。

土木関係

●地域高規格道路金沢能登連絡道路整備事業（県単事業分）に係る負担金2千870万円を計上。

教育関係

●要保護および準要保護児童生徒援助費補助金等に655万円を計上。

特別会計

●住宅用太陽光発電システム設置事業補助金（一戸の限度額18万円）に180万円を計上。

●医療費抑制のための糖尿病予防対策事業に654万円を計上。

(全員賛成)

水道事業会計

●配水施設の整備計画検討業務委託に50万円を計上。

(全員賛成)

条例

●「指定管理者制度」の導入に際し、指定管理者にゆだねる業務の範囲等を定めるための改正。

(全員賛成)

規約

●河北郡市リサイクルプラザの完成による事務所の位置変更、組合経費のうち下水道汚泥処理に係る負担割合の変更。

(全員賛成)



有料道路直線化の盛土工事



常任委員会

レポート

Q QUESTION & ANSWER

審議内容の一例を紹介します。

総務

常任委員会



アスベスト対策は

十分か

Q 保育所、学校、公民館等で行なったアスベスト調査の結果と対策はどうか。

A 町施設で86箇所の調査をしている。25施設にアスベストが使用されており、含有率の分析を委託しており、年内に速報が入る予定。

Q 男女共同参画に対する住民意識調査は、いつ、どんな内容で、何人を対象に実施するのか。

A A4判8ページ程のアンケート調査で、2千名を対象に年明け早々に実施したい。



天井の改修工事（鶴ヶ丘保育所）

Q

役場庁舎の暖房は重油を使用しているが、環境面も配慮して、夜間電力を使用した蓄熱システムを活用すべきでないか。

A

庁舎建設時の熱源利用方針を確認して検討したい。

Q

県が平成18年度中に策定する消防広域化計画のタイムスケジュールを示せ。

A

早急に示すように、県消防長会を通じて要請している。

文教福祉 常任委員会



自在庵の活用

Q 茶室設置条例に規定されている鶴ヶ丘の「自在庵」については、一般利用者がいないことを考慮し、検討すべきでないか。

A 今回の条例改正は、指定管理者制度の導入に関するものであり、「自在庵」については、施設のあり方を検討していきたい。

Q 鶴ヶ丘保育所のアスベスト対策と状況はどうなっているのか。また、他の公共施設はどうか。

A 基準値以上のアスベストが遊戯室の天井部分に吹付けられていたもので、飛散しないよう天井部分を板でふさいで封じ込めを行う。他の施設は、検査の結果を待って対処したい。



茶室「自在庵」

Q 撤去する水質浄化施設は、補助をして10年経過するが、研究成果はどうだったのか。

A 河北潟の水質浄化調査研究のために補助をしてきたが、今年度末に調査研究の結果が報告されることになっている。

Q 子育て支援センター候補用地の不動産鑑定委託料、調査設計委託料が予算計上されたが、他の公共施設・用地の活用を検討しているのか。

A 候補地については、利便性がよくぜひとも取得したいが、他の公共用地・施設との検討も行い、委員会に説明報告をして執行したい。

産業建設 常任委員会



シルバー人材センター設立

Q 設立した内灘町シルバー人材センターは、会員が色々な職種に就けるよう町としても協力すべき。

A 町としても、出来る限りの協力をしていきたい。

Q 能登有料道路の直線化が完成するまでの工程はどうなっているのか。

A 県は、平成17年度に整備区間の指定を受け、18年度より地域高規格道路として整備を進める計画であり、平成22年頃の完成と聞いている。

Q 室地区の公共下水道事業は今年度で完了するのか。また、来年度の整備計画は。

A 室地区は今年度で完了し、来年度は湖西地区の住宅地を整備する予定。

Q 上水道の配水施設整備計画検討業務委託の内容は何か。また、どの場所を調査するのか。

A 災害時における金沢市からの給水受入れ体制の調査検討で、金沢市栗崎町と内灘町を結ぶ2箇所を調査を予定している。

Q 内灘駅前の狭い道路部分は、車の交差に支障があり早期の解消が望まれているが、整備計画は出来ているのか。

A 整備計画は出来ており、今後は関係者の協力が得られるよう協議を進めていきたい。



12月10日に行われた設立総会

総合計画の策定

三重県、岐阜県、愛知県を訪ね、男女共同参画、総合計画、消防行政、行政改革、コミュニティバス等の視察研修を行いました。

岐阜県多治見市は、平成13年度から10年を計画期間として第5次総合計画を策定しています。

しかし、策定当初と比較して、人口の減少、少子高齢化、財政状況の悪化、市民活動の活発化など状況が大きく変化していることから「持続可能な地域社会づくり」の観点から平成17年に計画の見直しを行なっています。

見直しでは、重点的な取り組みを明確にし、財政推計をもとに事業の廃止・縮減や受益者負担の見直しも含め、事務事業のすべてを点検し、実施するすべての事業に優先度をつけた結果、拡大型の計画から縮小型の計画となったそうです。



岐阜県多治見市

従来の計画にありがちな理念計画、計画と予算の不整合を見直し、市民と行政が共有する総合計画となっていました。

内灘町では、今年3月の第4次総合計画の策定に向け、策定委員会を中心に審議が進められています。

まちづくりの指針となる総合計画の策定に向けて、学ぶべき点が多くあり、参考となりました。

視察研修報告

子育て支援

長野県と新潟県を訪ね、子育て支援総合センター、高齢者対策事業、少人数学級・指導について視察研修を行いました。

松本市は、平成12年6月に就学前の幼児とその家庭を対象に、各種の子育て支援事業をはじめ、休日・病後児保育を実施する施設として「松本市こどもプラザ」をオープンしました。

建設費の1億657万円は少子化対策臨時特例交付金を元に、市長の理解があったこともあり、全国的に先駆けて建設されたそうです。

事業内容は、子育て支援事業、保育事業（休日・病後児保育）、「育児短大」講座、出張サービス（サークル活動支援）があり、運営費用は、子育て支援の補助金（約1千800万円）を充てている他は市の負担となっています。

施設利用者が多いため、平



松本市こどもプラザ

成17年8月に小宮保育園に併設したこどもプラザも開設されており、今後も2箇所増やす計画をしています。

少子化対策の一環として、「子育ては地域で協力して育てる」ことの必要性を認識することが出来ました。

砂丘の保全と活性化

鳥取県、岡山県、兵庫県を訪ね、砂丘の保全・活性化施策、湖沼の水質保全、ジオパーク公園等の視察研修を行いました。

鳥取砂丘は、東西に16・1キロ、南北に2・2キロあり、最大約92メートルという日本一の起伏量があります。

風紋や自然が織り成す造形、スリバチや砂丘列などの多様な地形、貴重な動植物の棲息など、その多様な魅力から全国的な景勝地となっており、年間約120万人の人が訪れるそうです。

平成12年に、県民、民間企業、行政などが一体となって鳥取砂丘新発見伝実行委員会が設立され、県の宝として光を当て、新しいイメージを創造し、情報発信する取り組みがスタートしています。

実行委員会では、砂丘観光の復興、地域の活性化に寄与することを目的に様々なイベ

ントを行い、全国に発信しているそうです。

内灘砂丘は、砂丘地の住宅建設や飛砂対策の植林により、海岸部に少し残された状況となつていますが、今後の観光振興策や海岸活用事業の参考となりました。



鳥取砂丘のイベント

親しみやすい広報づくりをめざし

宮城県加美町、蔵王町を訪ね、議会広報の編集について視察研修を行いました。

加美町の編集方針は、「住民が感心を持ち読んでもらえる」ことを第一に、住民と議会のパイプ役として、簡潔、公正に審議過程を可能な限り掲載し、住民に直接関係の深いものを重点的に取り上げていました。

裏面は、街角やふるさとの原風景を掲載し、手にとって読まれる工夫がされていました。

蔵王町の「蔵王町議会だより」は、昭和54年に創刊された歴史ある広報誌です。

町村議会広報全国コンクールにおいて、平成11年より毎年入賞を重ねており、平成16年の第18回全国コンクールで最優秀賞（全国第1位）を受賞しています。

編集は読者に読みやすい広報誌にするため、写真を多く

掲載し、紙面のレイアウトは余白を上手に活用していました。

住民に分かりやすく親しみやすい広報づくりは全国共通であり、研修を通して得られた成果を今後の紙面づくりに役立てていきたいと考えています。



蔵王町に学ぶ



渡辺 旺 議員

発達障害を持つ子への支援 —— 渡辺 旺議員

適切な環境整備に努める —— 八十出町長

渡辺 軽度発達障害は、周囲の人には発達のつまづきと思われにくく、子供がふざけている、親のしつけがなっていない等の誤解を受けやすく、当人や養育者はとても傷ついている。

町では、今まで保育所、小・中学校でどのような障害者支援、特に軽度発達障害者に対する対応と今後の取り組みは。

町長 保育所では、軽度発達障害の子供を含め、すべての子供を受け入れており、障害児保育や病後児保育など保育サービスの向上に努めたい。

入学後は、担任の教員のほかに特殊学級補助員を配置し、学校生活を支援しており、教員で組織する専門委員会では支援体制や手法の調査研究もしている。

渡辺 国の支援体制との関係で、今後の対応はどうなるのか。

町長 国、県の指導をまち、必要な児童生徒の適切な環境整備に努めたい。

渡辺 蓮湖渚公園から清湖大橋間の堤防に、水門があるが機能しているのか。

都市整備部長 老朽化して危険なものは撤去も含め協議している。

渡辺 大野川堤防を補修し、インターロッキング舗装の遊歩道に整備せよ。

都市整備部長 今後とも早期完成を県に要望していきたい。

冬期間の

危機管理は

町民の

協力が必要

渡辺 平成16年1月22日に降った大雪で、国・県道の大動脈は麻痺状態となり、融雪装置は機能しなかった。

今年度は除雪計画や大規模災害における職員初動マニュアル、特に豪雪における職員配備体制等を今から職員一人一人が理解し、轍を踏まないためにも職員の配備体制はどうなっているのか。

総務部長 職員の配備体制は、「大規模災害における職員初動マニュアル」に定めている。

雪害対策本部、設置前と設置後に分け、それぞれ配備基準、配備人員等を定めて対応に努めている。

除雪作業は、区、町会を初め、町民一人一人の協力が不可欠で、官民一体となった除雪体制の確立を目指す。



除雪作業



夷藤 満 議員

いっぱん

白帆台に保育施設を

夷藤 満 議員

19年4月に開園

八十出町長

夷藤 町の人口増加を望むとき、白帆台を抜きにして考えられない。

売れ行きがよい近隣の住宅事情を見ると、団地の中に小学校、保育所が完備されている。

白帆台の保育所は、平成19年春に開園できるのか。

町長 子育てのしやすい町づくりを目指すことが若者の定住人口をふやす施策だと考えている。

今後は、宮坂区の理解を得、議会に諮りながら平成19年4月の開園に向け、全身全霊、取り組んでいく。

夷藤 全保育施設に0歳児からの保育を導入せよ。

町民福祉部長 保育所民営化検討委員会で、夜間、休日保育、0歳児も含め検討。

夷藤 「ほのぼの湯」の営業時間を早めるとともに、極楽殿も早く開放せよ。

町民福祉部長 清掃時間を短縮し、極楽殿の入館時間も含め前向きに検討。

夷藤 「ほのぼの湯」の利用者のために、回数券を発行してはどうか。

町民福祉部長 導入に向け、検討。

夷藤 白帆台からかほく市までの道路の拡幅、直線化を強く要望する。

米田助役 この道路の重要性から、県と協議しながら整備を進めていきたい。

夷藤 学校給食費の滞納額が356万3千円もあるが、回収する見通しは。

教育次長 学校と連携をとり、引き続き収納努力を重ねていく。

夷藤 今後も世界の風の祭典を続けるつもりがあるのか。

町長 来年の風の祭典は、例年どおり内灘海水浴場を会場に開催する。

夷藤 海水浴場の駐車場が減ることで、千鳥台地区の違法駐車が増えないか。

町長 直線化工事に伴う駐車台数の減少は、巡回バスの増発等で対処したい。

町の負担は

妥当か

県単事業のため

夷藤 海浜道路の直線化が2年前倒しで実施され、大変喜んでいてる。

金沢港大浜団地に仮置きしている浚渫土砂60万³mを直線化整備の盛土に使用すれば、県は約5億5千万円の削減が図れると聞いている。

にもかかわらず、町に2千800万円も要求し、町が受け入れたのはなぜか。

町長 県は、港湾整備に合わせて道路整備を実施すれば、工期が短縮されることから、12月補正で県単道路改良事業として2億8千700万を計上し、事業費の10分の1の地元負担が発生した。

地元負担金2千870万円は、元利償還金の約30%強が地方交付税に算入される起債を充当する。



福祉センター「ほのぼの湯」



来年度の予算編成方針は ——— 能村 憲治議員

徹底した歳出削減 ——— 八十出町長

能村 昨年3月議会の私の質問に、町は健全財政を強調していたが、3年前に10億円以上あった財政調整基金の残高は毎年減少し続け、現在はわずか1億6千万円となっている。

能村 行財政改革に取り組み半年を経過したが、現状はどうなっているのか。

能村 全国各自治体で、参画と協働で地域福祉活動が積極的に行われている。

財政面からも有用

18年度の予算編成が可能なか、無駄な予算を大胆に削減し、必要な事業には思い切った予算をつける積極性が大切でないか。

能村 複合施設として使用されている保健センターのあり方を見直せ。

米田助役 総合的な拠点施設として新たに設置すべきなのか調査、検討したい。

今般、ファミリグラウンドゴルフ場の新規設置に関する要望書が複数の町会から提出された。生きがい健康づくりとしてのスポーツ活動が推進されるなか、この事業を住民と行政が協力して進めていく新しい試みとして取り組んではどうか。

町長 町民参加の町づくりであると同時に、財政面からも有用であり、事業手法としてできる限り取り入れたい。

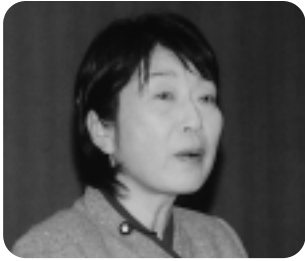
町長 予算編成は、学校施設の耐震対策等の教育関係や子育て支援施策の充実を中心に考えている。財源の状況や事業の緊急度を勘案し、事業年度の変更などの見直し、徹底した歳出削減により、ここ数年続いている経常的な財源不足額の縮減を図りたい。

能村 保健センターには、社会問題のアスベストが使用されているのか。

助役 建物のどの場所にもアスベストは使用されていない。



親子で楽しむグラウンドゴルフ



水口 裕子 議員

いっぱん

委員会の情報公開

水口 裕子議員

ホームページで情報発信

八十出町長

水口 公募の委員を入れていくつも委員会が新たに立ち上がった。

行財政改革推進委員会

と男女協働参画推進委員会は、その理念や審議内容を町のホームページで現在公開している。

ほかに、たくさんの委員会があるが、情報の公開を進めよう。

水口 教育委員会の審議内容も同様に公開してもらいたい。

水口 ボランティアの人們たちが情報交換できるスペースの提供を求めたい。

浜田教育長 教育委員会に諮り、掲載内容も検討し実施したい。

町長 庁舎内での設置に向け検討していきたい。

水口 教育長は町長の理念を理解し、教育委員会の交際費を公開すべき。

水口 文化会館と保健センターの完全禁煙を求めたい。

町長 町民参加と協働の町政を進めていく観点から、また公募委員を含む委員会を発足させた経緯からも、委員会情報の発信は大切である。

教育長 準備が整い次第、町のホームページで公開していきたい。

総務部長 保健センターは全面禁煙を実施し、文化会館は利用状況等を勘案し検討する。

信は大切である。

今後は各種委員会の審議状況について、町のホームページで情報発信に努めていきたい。

水口 住民参加型福祉サービスをシルバー人材センターに取り入れよ。

町民福祉部長 近隣の金沢市、NPOなどを参考に研究していきたい。

プルサーマル計画に反対を

情報収集に努める

水口 志賀原発のプルサーマル計画は、使用済み燃料から取り出した猛毒のプルトリウムを一般の原発用の燃料にまぜ、MOX燃料として使用するもの。

住民の安全を守る義務のある町は、北陸電力に対しプルサーマル計画の実施に反対の申し入れをすべきでないか。

総務部長 現段階で電力会社から県や志賀町に対して具体的な事前協議がされておらず、この先の計画スケジュールも明確になっていない。

今後は、町民の安全確保を第一に考える観点から、国や県の動向など情報収集に努めていきたい。



志賀原子力発電所



行政のスリム化 —— 北川 進議員

経費の徹底した削減 —— 八十出町長

北川 国は、補助金削減項目で、地方が強く反対していた生活保護費を外した。

今後とも地方分権を進めるとしており、地方自治体にとつて厳しい状況が続くと思われる。

行財政改革をどのように進め、行政そのもののスリム化が必要になつてくると思うが、町長の行財政改革に対する考え方は。

町長 厳しい財政状況のなか、町民の幸せを実現するためにこそ行財政改革が必要と考えている。

歳入の減少と義務的歳出の増加という財政状況にあつて、町民の福祉の充実を実現するため、行政内部経費の徹底した削減、機構も含めた行政のスリム化も視野に入れた改革が必要である。

融雪手法は

北川 町内には融雪装置が必要な通学路や坂道が多々ある。

地下水以外の融雪方法として、河川水、下水の処理水、電気等による融雪があり、道路の状況、地形、設置する場所を把握し、設置箇所にあつた融雪の手法を研究、検討するとのことだったが、その結果はどうだったか。

潟の水を活用

都市整備部長 融雪装置の方法について、河川水は、道路での実証実験を行つた結果、融雪水として十分活用できることから、能登有料道路の内灘料金所から福祉センターまでの間に河北潟の水を利用して融雪装置を設置した。

また、下水処理水の一部は浄化センター内の融雪に利用している。

北川 融雪装置が必要な通学路や坂道が多々ある。今後融雪装置をつける考えはあるのか。

都市整備部長 急な坂道、機械除雪が出来ない狭い道路は、今後もこの原則に基づき設置したい。

北川 河北潟の水質浄化は、浅野川の水を潟に入れ、放水路で排水して水の流れをよくしたらどうか。

町長 大変有効な手法と想われ、河北潟環境対策期成同盟会においても関心が高まっている。

北川 豪雨時の雨水排水は、将来を考えた抜本的な対策を考えるべき。

企業局長 まず大根布排水区は、バイパスを設置して直接大野川へ放流する。調整池は今後の推移をみる。

北川 医科大通りから西側の雨水を直接日本海や放水路に流す計画はあるのか。

企業局長 6つの案で検討した結果、現在その計画はしていない。



河北潟の水を融雪に利用した路線



清水 文雄 議員

いっぱん

職員の意識改革を

清水 文雄議員

職員研修を実施

八十出町長

清水 行財政改革の基本であるコミュニケーション型行政の推進を一層図り、行財政改革の中間点で進捗状況の報告が必要。

多くの町民の声を聞き、それを考えるフォーラム、シンポジウムを考えるべきと思うが、町長の見解は。

また、職員の意識改革によって取り組み体制の充実強化を図れ。

町長 フォーラムやシンポジウムは、来年度予算に開催経費を計上したい。また、先進自治体への職員の派遣や民間の講師を招いて研修会を実施するなど、全職員を対象とした研修会を開催する。真に実効性のある職員研修を実施し、職員の意識改革を図りたい。

行財政改革の推進と

第4次総合計画

との関連は

清水 町民の声が届き、町民も納得できる現実性と実効のある総合計画の策定が必要でないか。

その策定には、行財政改革推進委員会と第4次総合計画策定委員会が連携して一体となり、じっくりと腰を据えて、町民参加のもとで策定すべきでないか。

両委員会の

整合性を図る

町長 行財政改革のための審議会が審議を継続しているなか、向こう10年間の総合計画を策定することはまことに難しい。計画と現実に隔たりが生じない計画策定に向けて努力を重ねたい。

なお、両委員会における情報の共有化、整合性を図りながら審議を進める必要があると考える。

清水 グループホームの事業者には、周辺住民との問題が発生しないよう指導監督の体制を確立せよ。

清水 グループホームの推進、事業者の指定に対する町の考えは。

町民福祉部長 外部評価機関による評価が法的に義務づけられ、適切な指導に当たりたい。

町民福祉部長 今年度末には充足される予定で、当分の間は新規の指定は考えない。



千鳥台にオープンしたグループホーム



防災行政無線を活用せよ —— 小谷 一也議員

具体的な運用を協議する —— 総務部長

小谷 放送により不審者の警戒心をあおるため、町内全域において「防犯パトロール中です」などの放送を流してはどうか。不審者が出没した場合には、状況提供をするなど、犯罪を未然に防ぐため、また犯罪が起きた場合の早期解決のために警察と連携をとり、防災行政無線や各公民館の放送を防犯に活用してはどうか。

総務部長 情報の共有は防犯対策に欠かせない重要なポイントである。今後、犯罪の撲滅に住民と行政が一体となつて取り組む体制を構築するためにも、放送設備の活用に向け、内灘町防災行政無線局運用細則の見直しや、各地区公民館等との具体的な運用方策について協議していきたい。

子育てサークルの活動に支援を

小谷 町は今年3月に、次世代育成支援地域行動計画を策定した。

このなかに、地域における子育て支援サービスの充実という項目があり、自主的に3つのサークルが活動しており、「アンパンマンの会」は活動が評価され、1歳から3歳児の親子遊びの教室の役割を担うまでになっている。

今後このようなサークルを育成し、活動を継続させるために、どのような支援を考えているのか。



子育てサークル

施設使用料の

減免を考える

八十出町長 町内には3つの子育てサークルがあり、いずれも活発な活動をしている。

今後は、参加人数の基準を設け、町が子育てサークルとして認定し、公共施設使用料の減免など、子育てサークルが活動しやすい環境づくりに、前向きに支援をしていきたい。



中居 治 議員

いっぱん

フルインター化を要望せよ

中居 治議員

県に働きかけたい

八十出町長

中居 内灘北部地区は、見違えるほど変わってきており、この現実をとめることなく、町の発展に結びつけるためにも、内灘料金所手前に、下り線出口と上り線入口をつくるためのフルインター化の実現に向かって町と議会が一つになって県に力強く働きかけていくことが大事でないか。

町長 北部地区から金沢方面へ利用できるよう昇り口、降り口を設置することにより、交通の分散化による渋滞緩和や北部地区の利便性の向上が図れる。

北部地区の活性化にとつて金沢方面との連携強化は極めて重要なことであり、県に働きかけていきたい。



能登有料道路の内灘料金所付近

負担金は

あるのか

ないと認識

している

中居 将来の交流人口を増やし、町民に安心を与え、魅力的な利便性の高い希望をつくる課題を考えたとき、海浜道路の直進化は、大変ありがたいことだと思っているが、町の負担金もかなりある。今後、この直進化が進むにあたり、町の負担金がこの負担金だけで終わることはないと思うが、大体いくぐらいになるのか。

米田助役 直線化に係る負担金については、県は国に直線化事業を重点事業に位置づけ、補助事業として取り組みたいという報道があった。

18年度以降は補助事業として進めていくと理解しており、負担金はないと認識している。

いっぱん質問

堂下 清孝 議員



9条を守れ

堂下 清孝議員

平和を願う

八十出町長

堂下 内灘町は、日本初の基地反対闘争の地であり、先日、内灘町でも9条を守ろうと多くの町民の方々の呼びかけと賛同者を得て、「内灘9条の会」が結成された。

堂下 子供の治療費助成を小学校卒業まで拡大せよ。町民福祉部長 現時点で治療費助成の拡大は考えていない、今後の課題。

堂下 内灘橋詰より白帆台を通り、セレモニー会館までの区間を県道に格上げするよう強く要望すべき。

都市整備部長 町道幹8号宮坂西荒屋線の県道昇格を要望していく。

堂下 旭ヶ丘地内の側溝は、破損し大変危険な状態なので、県に改修を要望せよ。

都市整備部長 既に現地を確認し、県に改修要望をしている。

意図的に 対立をあおる

堂下 政府は、構造改革を無理やり押し切るために、国民の中に意図的に対立をつくり、分断を図ろうとしている。

その最たるものが、医療における政府案であり、社会的連帯を大事にして立ち向かう必要がある。町の責任者として、その先頭に立つべきだ。

ふさわしい 発展を目指す

町長 我が国の経済社会を国際化や情報化に対応した21世紀にふさわしい発展を目指すため、さまざまな分野で構造改革が進められている。

今後も技術革新や新事業への挑戦ができる社会、国民が安全で安心して暮らせる社会を目指し、改革が一層推し進められるものだと思っている。

町長 平和を願う気持ちは、国民の共通の願いであり、私もその一人。

憲法9条をめぐるさまざまな議論がされているが、今後、平和を願う気持ちの基本に、幅広い国民レベルの議論を経て、手続が進められることを期待している。

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

憲法第9条

2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

平成 16 年度決算審査

決算特別委員会

平成 16 年度一般会計、各特別会計、水道事業会計決算について、5 日間にわたり審議した結果、指摘・要望事項を今後の行財政運営に反映させることを付して、9 会計歳出総額 153 億 2 千 947 万 5 千 524 円の決算すべてを認定しました。

《指摘・要望した主なもの》

1. 福祉センター、サイクリングターミナルの宿泊者数が減少している。改善策として、町内外に向けた宿泊利用者拡大の PR、サービスの向上、経営面の営業努力等に真剣に取り組むこと。
2. コミュニティバスの運行については、既設バス路線の利用者数、赤字補償の問題等を検討し、北部地区にも運行する努力をすること。
3. 福祉事業を沢山実施しているが、数多く実施している割に参加人数が少ない。広報等で教室、場所等 PR して周知徹底を図り、実施成果の向上に努めること。
4. 旧斎場施設は、いつまでも今の状態で放置しておくのは不自然である。早急に解体するよう要望すること。
5. 県下で 2 番目に若い町なのに老人医療費が県下でトップになっている。原因を究明し、医療費の抑制対策を講じること。
6. 風力発電事業は現在特別会計になっているが、事業の成果を明確にするためにも、企業会計に移行するよう検討すること。
7. 水道水は安くて安全な水を供給することが大切である。自己水の問題点、県水の受水率の問題等含め自己水＋県水、県水のみ、金沢市からの給水を費用比較し、安くて安全な水道水供給について、早急に方向性を示すよう根本的な検討をすること。
8. 行財政改革の進め方をきちんと整理し総合計画を作り、町民にも公開し、その中で必要な事業を明示して、来年度の予算に計上すること。
9. サンセットブリッジのライトアップは町のシンボルの一つとなっている。より多くの人が訪れるよう町内外に PR すること。
10. 中学校の校舎で昭和 35 年に建設された部分については、早急に耐震補強の申請をして、優先的に耐震工事にかかるよう検討すること。
11. 町道大学宮坂線の北部土地区画整理事業の区間で舗装面がミミズのはったような状態になっている。以前にも指摘してあるが、砂地の所で何が原因でこうなるのか、早急に原因を究明し改善すること。

あなたの請願・陳情

採択したもの

- ◎高金利引き下げに関する陳情
- ◎永住外国人住民の住民投票権付与を求める請願書
- ◎義務教育費国庫負担制度の堅持を求めることについて

継続審査としたもの

- ◎地域農林水産業活性化を図るための「地産地消自治体宣言」を求める陳情
- ◎防災・生活関連を中心とした「公共事業」への転換と公共業務の民間化に反対する陳情書

意見書を提出

議会議案として提出された意見書 2 件は、全会一致で可決され、総理大臣をはじめ関係機関に提出。

■社会保障制度の抜本的改革を求める意見書

基礎年金制度の改革をはじめ各種年金の一元化問題を含む社会保障制度全体の一体的見直しを行うとともに、子育て支援の充実、雇用政策、住宅政策などとの連携を十分にはかること。

また、国民年金の未加入者及び未納者に対する通知、督促を適正に行うこと。

■最低賃金の引き上げを求める意見書

パート労働者、派遣労働者ら非正規労働者の賃金は、この数年さがりはじめ、実際に青年単身者では 1 ヶ月 10 万円あまりでの生活が余儀なくされている。

少子化問題が重大視されるなか、経済的自立、結婚さえおぼつかない状況は、より深刻さを強めるものとなっている。

政府は、地域別最低賃金改定にあたっては、早期に時間額を引き上げ、パートなど不安定雇用労働者の均等待遇を実現し、欧米諸国で制度化されている全国一律最低賃金の確立を早期に図るとともに、最低賃金制度の周知徹底、監督体制の拡充など、一層の充実を図られるよう強く要望する。

定例会での質問のゆくえ

ありや～
どうなったがいね～

信号機を設置せよ

向粟崎小学校の下の県道の押しボタン
信号機の設置時期はいつになるのか。
(16年6月定例議会)

提 案

時間延長せよ

働く人たちの子育て支援として、保育
所、学童保育の時間を延長せよ。
(15年6月定例議会)

公安委員会で検討しており、早期に設
置されるよう引き続き要望していく。

答 弁

職員の勤務対応、増員等も考えられる
ので今後検討したい。

その後



平成17年9月、押しボタン信号機が設
置され、児童の安全確保が図られた。



平成17年9月より、土曜日の保育時間
延長が緑台保育所と鶴ヶ丘児童館で試行さ
れており、平成18年度よりすべての保育
所および学童保育クラブで、土曜日の時間
延長（午後2時から6時へ）をする予定
となっている。

河北郡市 議員研修



河北郡市議員研修会が平成 17 年 11 月 9 日に津幡町の郡市会館で開催されました。

(財)日本エネルギー経済研究所石油情報センターより前川忠氏を迎え、最近の石油情勢について講演を受けました。

町内策



— 井上靖 文学碑 —

「砂丘に生きる町」内灘は、長い間、住民が砂との闘いに明け暮れた歴史を持っています。

その内灘砂丘を舞台とする文学作品は数多く描かれており、とりわけ内灘闘争を取り上げた作品が多いのは、第 2 次大戦後の日本の行く末を見つめる作家たちの目が内灘砂丘に注がれたことを物語っています。

作家井上靖は、自らをモデルに青春時代をつづった作品「北の海」をはじめとして、内灘砂丘を舞台とした数多くの作品を執筆しています。

内灘を愛した大作家の心が宿る文学碑が、総合公園に設置されています。

◆編集後記◆

新年あけましておめでとうございます。

昨年を振り返りますと 12 月としては記録的な大雪にみまわれ、年末の忙しい中、雪かきに追われる日がつづき町民の皆様、大変ご苦労さまでした。

また、奈良、広島、栃木と痛ましい事件が続き小学生の子どもを持つ保護者にとっては不安な思いをなされたと思います。

内灘町では、このような事件が起きないように、各校下、各町会において昨年は相次いで防犯パトロール隊が結成され、子どもたちの安全はもとより地域の安全にボランティアの方々が目光らせてがんばっておられます。

町民の皆さまが、安心して暮らせ、幸多き年となるよう心からご祈念いたします。
(小谷)

傍聴しませんか？

次の定例会は **3 月** です。

内灘町議会事務局 TEL 286-6715
FAX 286-6711